デザイン学大学院連携プログラム

平成27年度博士論文研究基礎力審査（QE）申請書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | 氏　　　名 | ふ　り　が　な | | | |
|  | | | |
| 所属研究科・  専攻・学年 |  | | 学籍番号 |  |
| 研究科における　指導教員の所属・氏名・役職 | |  | 研究科における副指導教員の所属・氏名・役職 |  | |
| 申請者の略歴および研究活動歴  （略歴）  （取得資格　ex. TOEFL、IELTS、情報処理技術者試験、、、）  （受賞歴）  （研究活動歴）  （研究業績一覧） | | | | | |

|  |
| --- |
| 京都大学デザインスクールでの活動・参加歴（３年次編入生は、履修科目、参加イベント等について記載すること）  （デザイン学基礎科目：履修科目に印をつけ、履修年度を記載）  □ デザイン方法論　　　　　　　（　　　年度）　　□アーティファクトデザイン論　（　　　年度）  □ インフォメーションデザイン論（　　　年度）　　□組織・コミュニティデザイン論（　　　年度）  □ フィールド分析法　　　　　　（　　　年度）　　□デザイン構成論　　　　　　　（　　　年度）  （FBL/PBL、参加したテーマ名を記入してください。）  平成２５年度前期：  平成２５年度後期：  平成２６年度前期：  平成２６年度後期：  平成２７年度前期  （京都大学デザインスクール主催・関連する研修・イベント等）  予科生合宿：  サマーデザインスクール2013：  デザインスクール in 沖縄：  戦略的コミュニケーションセミナー：  デザインスクール in 香港：  サマーデザインスクール2014：  Researcher Connect（若手研究者育成トレーニングプログラム）：  デザインワークショップ  デザインフォーラム  Design Visions  デザインセミナー  サマーデザインスクール2015：  （京都大学デザインスクール以外で、デザイン学に関連する授業・研修・イベント等）  （デザイン学プ大学院連携プログラム履修の効果・成果：上記に記載の研修・イベント等と関連して記述することが望ましい。　なお、３年次編入生は、デザイン学プログラムを履修していない場合には、デザイン学に関連する授業・研究・イベント等から得られた効果・成果について記載すること） |

|  |
| --- |
| 修士論文の概要（修士論文を提出していない場合には、修士課程での研究内容・活動内容について記載すること。なお、3年次編入生については、修士論文の要旨、研究経過報告書、業績調書、研究実績調書でも良い）  （論文題名/研究テーマ）  （論文要旨/研究経過報告/業績調書/研究実績調書） |

|  |
| --- |
| デザイン学大学院連携プログラム博士後期課程における履修計画（どのような科目を、いつ履修するか、現時点での予定を記載すること。研究計画とも関連するので、指導教員とよく相談の上記入すること。）  （博士後期１年）  （博士後期２年）  （博士後期３年）  （博士後期課程におけるデザイン学連携大学院プログラムの開講科目・イベント等に期待すること。） |

|  |
| --- |
| 博士後期課程における研究計画（指導教員とよく相談の上記入すること）  （研究テーマ）  （研究目的）  （研究計画・方法）  （本研究とデザイン学プログラムの関係・関連について） |

|  |
| --- |
| デザイン学大学院連携プログラム修了後の進路 |

* 日本語もしくは英語で記載すること。
* 必要に応じてページ数を増やしても構いませんが、合計で１０ページ以内とすること。